



日向市は持続可能な開発目標 (SDGs) を推進しています。



記者発表事項



情報提供日	令和5年10月20日
担当課 内線 担当者	スポーツ・文化振興課 2432 歌津 レイナ

発表事項 令和5年度日向市文化賞受賞者の決定と授賞式の実施について

日向市では、昭和43年から市の文化の向上発達に関し、特に功績の顕著な者に対して日向市文化賞を設定し顕彰しております。この度、下記のとおり、令和5年度の受賞者が決定し、授賞式を実施しますのでお知らせします。

記

1. 受賞者

^{たきい} 瀧井 ^{おさむ} 修 さん [体育・一般部門]

2. 主な経歴

<職歴>

昭和58年5月～平成10年11月	医療法人社団慶城会	瀧井病院	院長
平成10年6月～現在	社会福祉法人清風会		理事長
平成10年11月～現在	医療法人社団慶城会	瀧井病院	理事長

<役職歴>

平成9年～平成31年	日向市レクリエーション協会	会長
平成25年5月～令和3年4月	日向市スポーツ協会	会長

3. 授賞式

日 時：令和5年11月3日（金曜日・文化の日） 午前10時～

会 場：日向市役所 第1～3委員会室（4階）

主な出席予定者：市長、議長、教育長ほか関係者20数名

令和5年度日向市文化賞受賞者

- 受賞者氏名 瀧井 修 (たきい おさむ)
- 年 齢 昭和26年6月8日生まれ(72歳)
- 住 所 日向市大字塩見在住
- 受賞部門 体育・一般



<受賞理由>

瀧井修さんは、昭和58年から現在まで、長年にわたり医療法人社団慶城会 瀧井病院の理事長・院長や、社会福祉法人清風会の理事長を務めておられます。

この間、介護老人福祉施設や児童心理治療施設を開設し、地域医療・地域福祉の向上に大きく寄与されてきました。

また、市内小中学校の学校医や日向市就学支援委員会の委員を担っており、学校保健や特別支援教育にも大きく貢献されています。

さらに、地域医療に従事する傍ら、平成9年から平成31年まで日向市レクリエーション協会の会長としてレクリエーション活動の普及促進に尽力されるとともに、平成25年から令和3年まで日向市スポーツ協会の会長を務め、組織の充実発展と本市スポーツの普及振興に尽力され、地域文化の向上にも大きく貢献されました。

こうした、瀧井さんの幅広い功績に対し、日向市文化賞を贈るものです。

これまでの受賞者（敬称略）

年 度	氏 名	部 門	功 績
昭和43年度	三尾 良次郎	学 術	著書「黒田の家臣物語」等による郷土史研究
	宮崎 正二	芸 術	絵画（油彩画）の研究（市美術協会会長）
	黒木 八百藏	技 術	はまぐり基石加工技術
昭和44年度	伊達 小夜子	芸 術	バレエの研究・普及
	成合 袈裟義	技 術	日本刀研磨・鍛練の技術
	長友 重夫	体 育	弓道の普及（県体個人優勝3回）
昭和45年度	石川 肇一	技 術	鬼瓦づくりの技術（昭和33年天覧）
昭和46年度	刈川 水保	芸 術	絵画（油彩画）の研究（県美展連続入選）
昭和47年度	山元 一	体 育	柔道の普及（県選手権優勝・柔道場開設）
昭和48年度	田中 重治	一 般	学校医としての功績（40年間）
昭和49年度	山中 たから	芸 術	俳句普及に対する貢献及び作家としての文化振興
昭和50年度	該当者なし		
昭和51年度	甲斐 勝	学術・芸術	小説「小さな長い夏」郷土誌「天領と日向市」等の著作活動
昭和52年度	佐藤 正	一 般	文化振興に尽力（市文化協会初代会長、市教育委員長 etc）
昭和53年度	該当者なし		
昭和54年度	該当者なし		
昭和55年度	黒木 幹夫	体 育	ソフトボール競技の普及に尽力（全日本ソフトボール協会表彰）
昭和56年度	田村 栄市	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任・市長表彰）
	黒木 一士	技 術	はまぐり基石の加工技術
	宮地 千代	芸 術	茶道の普及振興（淡交会全国表彰）
昭和57年度	大坪 静枝	芸 術	茶道の普及振興に尽力（県支部長歴任）
	塩月 景幸	芸 術	民謡の研究・普及に尽力（NHKのど自慢全国大会準優勝）
昭和58年度	該当者なし		
昭和59年度	武田 キクエ	芸 術	茶道の普及振興に尽力
	阪本 正男	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任）
	黒木 倉吉	芸 術	短歌の研究・普及に尽力（「教育雑記くりあと随筆」等の著書）
昭和60年度	甲斐 正教	体 育	卓球・ソフトボール等の普及に尽力
昭和61年度	該当者なし		
昭和62年度	田中 道夫	芸 術	絵画（特に剪画部門）の研究（日本剪画大賞受賞）
昭和63年度	該当者なし		
平成元年度	該当者なし		
平成2年度	宮崎 清子	芸 術	茶道の普及振興に尽力（市茶道連盟会長）
	三股 富士雄	一 般	学校医としての功績及び市南部地区振興に尽力
平成3年度	佐々木 武彦	体 育	体育競技団体の育成・振興に尽力（市体育協会会長）
	伊藤 隆	一 般	文化財保護思想の普及及び細島地区振興に尽力（史談会会長）
	鈴木 政市	芸 術	書道の研究・普及に尽力（市書道協会会長・市美術展無鑑査作家）
平成4年度	和田 文男	一 般	医師会会長・学校医としての功績
	日向市民吹奏楽団	芸 術	音楽を通して市民の文化向上に多大な貢献
平成5年度	市原 正廣	芸 術	書道の研究・普及に尽力又、市文化団体の育成に多大な貢献
	佐々木 寛治郎	技 術	美々津和紙の研究製造・普及に尽力（宮崎県伝統工芸士）
平成6年度	鮫島 哲也	体育・一般	ソフトボール競技を通じ本市及び県内の体育に尽力
平成7年度	黒木 義男	芸 術	日向市内俳句連合会の指導と発展に尽力
平成8年度	該当者なし		
平成9年度	横川 美雄	体 育	ソフトボール競技の底辺の拡大と競技力の向上に多大なる貢献

平成10年度	該当者なし		
平成11年度	該当者なし		
平成12年度	小川 新一郎	芸 術	市内美術界の第一人者として後進の指導や文化振興に多大な貢献
平成13年度	長渡 万太郎	芸 術	各種俳句大会での受賞をはじめ、市内各派俳句会の一本化に尽力
平成14年度	該当者なし		
平成15年度	千代反田 泉	一 般	医療サービスの充実と発展、人材育成に尽力
平成16年度	該当者なし		
平成17年度	甲斐 文明	一 般	地域医療、救急医療そして学校医療の充実に貢献
	上杉 勇藏	一 般	古美術研究家、文化財保護を推進。(県の銃砲刀剣類登録審査員)
平成18年度	原田 和明	芸 術	日向市茶道連盟を結成し、茶の湯の普及に尽力
平成19年度	森迫 幹雄	一 般	幼児教育の推進に尽力し、教育文化向上へ貢献
	松葉 一路	技 術	刀鍛冶分野で日本伝統文化の推進に多大なる尽力
平成20年度	該当者なし		
平成21年度	西島 祐子	芸 術	バレエの指導者として教育普及推進に尽力
平成22年度	橘ひよつとこ踊り保存会	芸 術	市無形文化財の伝承保存活動に努める
	鈴木 幸男	一 般	「平兵衛酢」の栽培拡大に大きく寄与
	田崎 登保	一 般	市の観光振興に大きく貢献
平成23年度	花柳 絹太(吉田美智代)	芸 術	永年、日向市舞踊連盟の中心を担い、本市の日舞界に貢献
	和田 勝典	芸 術	日向はまぐり碁石まつりの運営をとおり、囲碁文化の向上に寄与
平成24年度	黒木 伊知緒	芸 術	本市の短歌界を牽引
平成25年度	日向市東郷町若山牧水顕彰会	芸 術	若山牧水顕彰を通じて芸術文化の向上と地域振興に貢献
	桂 歌春	芸 術	落語家真打昇進、こども落語を通じ文化振興・情報発信に貢献
平成26年度	中島 弘明	一 般	中島記念館を設立し、芸術文化の向上発展に貢献
	柏田 芳美	体 育	日向地区バスケットボール協会長として青少年の健全育成に貢献
平成27年度	中村 恒雄	一 般	地域医療に尽力し、小児生活習慣病健診に取り組む
	和田 徹也	一 般	地域医療に尽力する傍ら、スポーツや音楽振興に貢献
平成28年度	坂本 淳	芸 術	書道および篆刻の分野で大きく貢献
	渡邊 康久	一 般	地域医療に尽力する傍ら、地域の文化向上に貢献
平成29年度	東村 吉市	芸 術	永年の短歌活動と牧水顕彰に加えて、芸術文化の向上に貢献
平成30年度	岩切 素子	芸 術	音楽を通じた日向の発信、国際交流活動に係る功績
令和元年度	大野 裕	一 般	環境保全意識の醸成、文化向上に係る功績
令和2年度	山本 榮	技 術	鍛冶職人としての長年の活躍とその技術に係る功績
令和3年度	三輪 純司	一 般	幅広い活動で、人・まちづくりに貢献
令和4年度	該当者なし		

■これまでの受賞者数 (令和4年度まで)

61個人+3団体

※部門別受賞者数66(1人にて複数部門受賞もあり)

・学術部門2 ・技術部門7 ・芸術部門29 ・体育部門10 ・一般功労18